

前年度の改善方策について実行した改善結果

世田谷区立二子玉川小学校
校長 今福 眞和

1 学習指導について

児童・保護者からの学習に関する支持的評価は共に高く、探究的学びを中心とした「児童が自ら学ぶ」授業への変革は確実に進んでいる。教員同士の相互授業参観、教員による自主的なOJT、世田谷区ICTインフルエンサーによるスキルアップ講習を定期的実施し、「探究的な学び」の実践をテーマに、教員自身が探究的に取り組んできたことが成果として表れている。

7年度の大きな変革であった全学年での教科担任制は、児童・保護者共に高い支持的評価を得た。特に1年生では90%を超える評価であった。教科を絞って教材研究を行い、複数クラスで授業を展開することで、指導方法の確実な深まりが見られた。ICT活用能力の向上として、タブレット活用は日々の授業に浸透し、児童も使いこなして学習効果を高めている。

2 学校生活の充実について

学校生活に関する児童、保護者、地域アンケートの支持的評価は近年、安定して高評価を受けている。「先生が子どもに指導する」ことから「子どもが自発的・主体的に成長する過程を支える指導」への変革取り組んできた。「笑顔と元気と優しさあふれる学校」「二子玉川小学校4つ約束」を基盤に本年度はさらにインクルーシブ教育を推進し、すべての子どもが学校生活において自分らしく仲間と共に学校生活を送ることができるように努めるきたこ。校内ホットルームの活用により、登校促進につながったケースも多く見られた。全学年、教科担任制を実施し、学年チームで児童支援を実践してきたことも、学校生活の安定をもたらしていると考えます。

3 学校と家庭・地域との連携について

児童、保護者からの「相談のしやすさ」については近年の課題であったが、本年度は「児童・保護者の声を聴いている」項目の支持的評価が82%と大きく上昇した。教科担任制を進めるにあたって、チームとして学年の児童を見守り、いつでも誰にでも相談できる風土を創り上げてきた成果だと考える。

本校の子どもプロジェクト（PTA）活動はその先鞭をつけた形で改革を図ってきた。その成果として、子どもプロジェクトの活動についての肯定的支持が90%を超える評価を得ている。

4 特色ある教育活動について

本校の特色ある教育活動では、長年の取組である『愛鳥活動』や『クリーンタウン作戦』は安定して継続している。本年度は特にキャリア教育の一環として、全学年、生活科及び総合的な学習の時間の時間において、地域、社会との関りを持った授業実践を展開してきた。特に6年生は高島屋様との共同企画として、販売活動を実践することができた。社会に貢献することや、将来の夢や目標に向けた意識が高まっている。